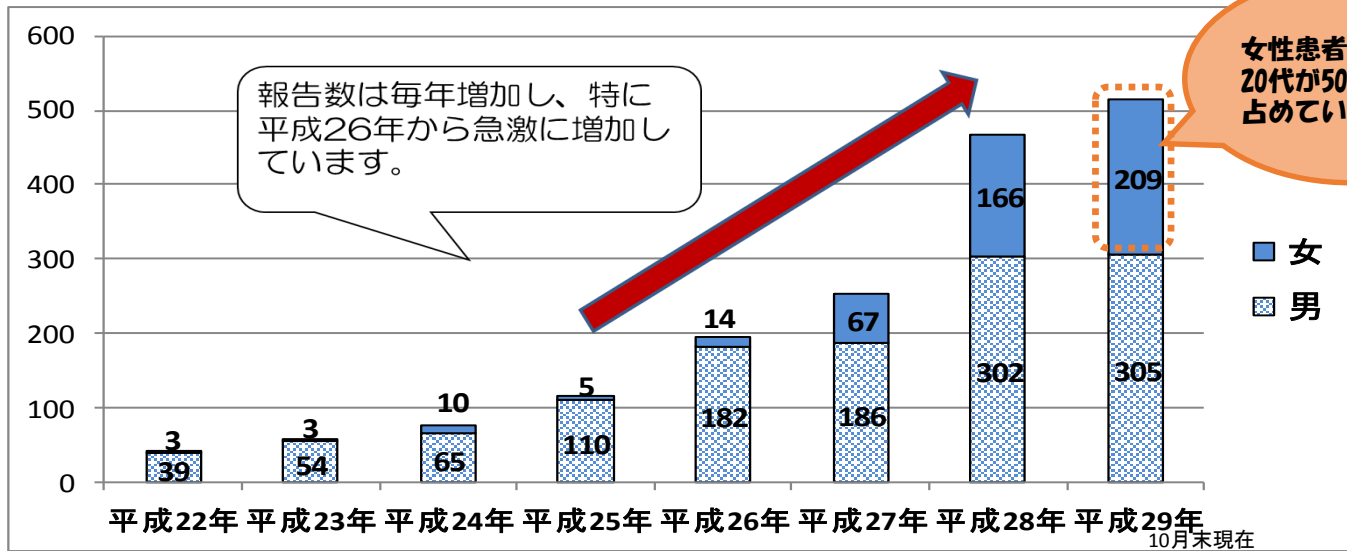


# 梅毒が増加しています！

近年、梅毒患者が増加しています。平成27年以降については女性患者(特に20代女性)の割合が顕著に増加しています。



## 梅毒の症状は？

梅毒の症状は時期により異なりますが、感染していても症状が全くなかったり消失したり、段階的な症状の出方を示さない場合もあります。

### 第1期(感染してから約3週間~)

感染が起きた部位(陰部・唇、口の中、肛門など)に赤いしこりやできもの

### 第2期(感染してから約3か月~)

発熱・頭痛・うっすらと赤い発疹(バラ疹)

### 第3期・第4期(感染してから約3年~)

皮膚にゴムのようなできものなど全身に広がる。脳や心臓に症状が出ることもある

**※上記のように段階的に症状が出ない場合もあります。**

## 梅毒はどうやって感染するの？

梅毒は、性的な接触(他人の粘膜や皮膚と直接接触すること)などによってうつる感染症です。

たとえば…

### 性器と性器

口(くち)と口(くち)

性器と肛門(アナルセックス)

性器と口(オーラルセックス)

## 注目



フェラチオやスマタでも感染する場合がありますよ

## 梅毒を予防しよう

★あらゆる性行為の際にはコンドームを正しく使用しましょう★

ただし、コンドームが覆わない部分の皮膚などで感染することがあります。100%予防できると過信はせず、皮膚や粘膜に異常があった場合は性行為を控え、早めに医療機関へ受診して相談しましょう。



コンドーム  
Condom

# 梅毒に感染しているかは血液検査でわかります

梅毒の感染は、血液検査(抗体検査)と医師の診察で判断します。感染初期の数週間は抗体検査をしても反応が出ない場合があるので、十分な期間(約3~4週間)において検査をする必要があります。

ただし、もし気になる症状がある場合は、早めに医療機関(泌尿器科、婦人科、皮膚科、性感染症科など)に受診をしましょう。


**大阪市ではHIV検査と合わせて梅毒の無料・匿名検査を実施しています。**

検査会場の梅毒検査で陽性となった場合は、医療機関に受診し、治療内容の判断をするために更に詳しい検査をお受けください。



**検査会場の情報はこちら→**

## どんな治療をするの？

- ❁ 梅毒は、外来で処方された抗菌剤を内服することで治る病気です。
- ❁ 内服期間は病気の進行具合により違うため、医師に確認しましょう。
- ❁ 現在症状がなくても、治療が必要なことがあります。
- ❁ 内服後、採血をして治療効果(注)を確認します。
- ❁ 医師が治療を終了とするまでは、薬は確実に飲みましょう。



(注): 治療後の採血結果ではRPRは下がりますが、TP抗体は「陽性」が持続します

## 梅毒は何度でも感染することがある！

適切な予防策(コンドームの使用、パートナーの治療等)が取られていなければ、再び梅毒に感染する可能性があります。

また、治療せずに放置しておくとう重症化したり、妊婦の場合は胎児に感染させることとなります。

### パートナーにも検査をすすめましょう

周囲で感染している可能性のある方(パートナー等)と一緒に検査を行い、必要に応じて一緒に治療を行いましょう。

感染をひろげる可能性のある性行為は、主治医が安全と判断するまで控えましょう。